

C-1	氏名	月 日	/q	合格 もう1回
-----	----	-----	----	------------

【問題1】 2人の会話を音読しましょう。

音読しました

みのり：ねえ、カルラ、「ICT」って何の⁽¹⁾りゃくだっけ？



カルラ：Information & Communication Technology だよ。⁽²⁾とつぜん、どうしたの？

みのり：ニュースで、ICTを学習に⁽³⁾かつようしている生徒は成績がいいって聞いたから。

カルラ：ふうん。確かにそうかもしれないね。カロリネ、すごく成績がいいもの。

タブレットで教科書の⁽⁴⁾ぶんしょうの写真を⁽⁵⁾とって、アプリで読み方や⁽⁶⁾いみを調べるといいよって、教えてもらったことがある。

みのり：カロリネって、⁽⁷⁾たしか、来日したのは中2の時だって言っていたよね。

カルラ：うん。来日した時は、日本語がほとんど話せなかったんだって。

私も、中1の5月に日本に来たときは、日本語で⁽⁸⁾あいさつぐらいしかできなかったから、3か月ぐらいは、毎日、辛くてたまらなかった。

みのり：2人とも、ほんとにすごいよね。来日して、ほんの2~3年で高校入試を受けたんだもの。よきライバルだよね。

カルラ：そうだね。カロリネが⁽⁹⁾がんばっているからこそ、私もがんばれるんだと思う。だから、カロリネは、私の「よきライバル」ということになるね。

みのり：勉強のライバルがいるって、いいね。恋のライバルはいらないけど。

【問題2】 下線の部分を正しい漢字を使って書き直しなさい。

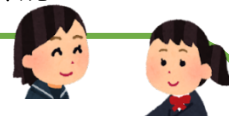
- | | | |
|------------------|-----------------|------------------|
| (1) りゃく
() | (2) とつぜん
() | (3) かつよう
() |
| (4) ぶんしょう
() | (5) とって
() | (6) いみ
() |
| (7) たしか
() | (8) あいさつ
() | (9) がんばって
() |

【ヒント】 頑張る 確か 撮る 突然 略 活用
文章 意味 挨拶

C-2	氏名	月 日	/6	合格 もう1回
-----	----	-----	----	------------

【問題1】 2人の会話を音読しましょう。

音読しました□



みのり：ねえ、カルラ、「ICT」って何の略だっけ？

カルラ：Information & Communication Technology だよ。(1)とつぜん、どうしたの？

みのり：ニュースで、ICTを学習に活用している生徒は(2)せいせきがいいって聞いたから。

カルラ：ふうん。確かにそうかもしれないね。カロリネ、すごく(3)せいせきがいいもの。

タブレットで教科書の(3)ぶんしょうの写真を撮って、アプリで読み方や

(4)いみを調べるといいよって、教えてもらったことがある。

みのり：カロリネって、確か、来日したのは中2の時だって言っていたよね。

カルラ：うん。来日した時は、日本語がほとんど話せなかったんだって。

私も、中1の5月に日本に来たときは、日本語で(5)あいさつぐらいしか

できなかったから、3か月ぐらいは、毎日、辛くてたまらなかった。

みのり：2人とも、ほんとにすごいよね。来日して、ほんの2~3年で高校入試を

受けたんだもの。よきライバルだよね。

カルラ：そうだね。カロリネが(6)がんばっているからこそ、私も(6)がんばれるんだと

思う。だから、カロリネは、私の「よきライバル」ということになるね。

みのり：勉強のライバルがいるって、いいね。恋のライバルはいらないけど。

【問題2】 下線の部分の正しい漢字を（ア）～（エ）の中から1つ選びなさい。

(1) とつぜん： ア 空然 イ 突祭 ウ 突然 エ 空祭

(2) せいせき： ア 成績 イ 成積 ウ 城績 エ 城積

(3) ぶんしょう： ア 分章 イ 文障 ウ 文章 エ 分彰

(4) いみ： ア 意身 イ 憶味 ウ 意未 エ 意味

(5) あいさつ： ア 挨拶 イ 挨札 ウ 握拶 エ 相擦

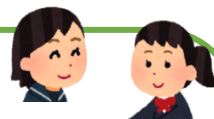
(6) がんばって： ア 元張って イ 頑帳って ウ 頑張って エ 眼張って

C-3	氏名	月 日	/12	合格 もう1回
-----	----	-----	-----	------------

【問題1】 2人の会話を音読しましょう。

音読しました□

みのり：ねえ、カルラ、「ICT」って何の「略」だっけ？



カルラ：Information & Communication Technology だよ。「突然」、どうしたの？

みのり：朝のニュースで、ICTを学習に「活用」している生徒は「成績」がいいって聞いたから。

カルラ：ふうん。確かにそうかもしれないね。カロリネ、すごく成績がいいもの。

タブレットで教科書の「文章」の「写真」を撮って、アプリで「読み方」や「意味」を調べるというよって、教えてもらったことがある。

みのり：カロリネって、確か「来日」したのは中2の時だって言っていたよね。

カルラ：うん。来日した時は、日本語がほとんど話せなかったんだって。

私も、中1の5月に日本に来たときは、挨拶ぐらいしかできなかったの。

3か月ぐらいは、毎日、「辛くて」たまらなかった。

みのり：2人とも、ほんとにすごいよね。来日して、ほんの2~3年で「高校入試」を「受けた」んだもの。よきライバルだよ。

カルラ：そうだね。カロリネが頑張っているからこそ、私も頑張れるんだと思う。

だから、カロリネは私の「よきライバル」ということになるね。

みのり：勉強のライバルがいるって、いいね。「恋」のライバルはいらないけど。

【問題2】 下線の漢字の読み方を下の（ ）の中に書きなさい。

1 略 () 2 活用 () 3 成績 () 4 文章 ()

5 写真 () 6 読み方 () 7 意味 () 8 来日 ()

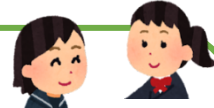
9 辛くて () 10 高校入試 () 11 受けた () 12 恋 ()

C-4	氏名	月 日	/5	合格 もう1回
-----	----	-----	----	------------

【問題1】 2人の会話を音読しましょう。

音読しました

みのり：ねえ、カルラ、「ICT」って何の略だっけ？



カルラ：Information & Communication Technology だよ。突然、どうしたの？

みのり：朝のニュースで、ICTを学習に活用している生徒は成績がいいって聞いたから。

カルラ：ふうん。確かにそうかもしれないね。カロリネ、すごく成績がいいもの。

タブレットで教科書の文章の写真を撮って、アプリで読み方や意味を調べるといいよって、教えてもらったことがある。

みのり：カロリネって、確か来日したのは中2の時だって言っていたよね。

カルラ：うん。来日した時は、日本語がほとんど話せなかったんだって。

私も、中1の5月に日本に来たときは、挨拶あいさつぐらいしかできなかったの。

3か月ぐらいは、毎日、辛くてたまらなかった。

みのり：2人とも、ほんとにすごいよね。来日して、ほんの2~3年で高校入試を受けたんだもの。よきライバルだよ。

カルラ：そうだね。カロリネが頑張っているからこそ、私も頑張れるんだと思う。

だから、カロリネは私の「よきライバル」ということになるね。

みのり：勉強のライバルがいるって、いいね。恋のライバルはいらないけど。

【問題2】 2人の会話の内容について次の問に答えなさい。

(1) 「ICT」は、どんな言葉の略ですか。

(2) みのりさんは、なぜICTについて知りたいと思ったのですか。

(3) カロリネさんは、ICTを学習にどのように活用していますか。

(4) カルラさんは、来日したばかりの頃、どのくらい日本語が話せましたか。

(5) カルラさんは、カロリネさんに対してどんな気持ちを抱いていますか。

c-1	氏名	月 日	/q	合格 もう1回
-----	----	-----	----	------------

【問題1】 カロリネの作文を音読しましょう。

音読しました□

【アプリの開発】

山口カロリネ



私は、中学2年生の時、両親と一緒にブラジルから日本に来た。初めて中学の門をくぐった日、桜が満開で、とても⁽¹⁾かんだうしたのを覚えている。

日本に来る前、ブラジルの日本語学校で日本語を少し勉強したが、中学校の授業は全く⁽²⁾りかいてきず、毎日がストレスの⁽³⁾れんぞくだった。

日常会話が少してできるようになったころ、先生が「ルビ振りアプリ」や「翻訳アプリ」を⁽⁴⁾しょうかいしてくれた。タブレットで教科書の文章を⁽⁵⁾しゃしんに撮るだけで、読み方や書かれている内容が画面に⁽⁶⁾ひょうじされるのだ。おかげで、日本語の力がぐんぐん伸び、クラスの授業にも遅れずについていけるようになった。もし、それらのアプリがなかったら、高校への進学は難しかったのではないかと思う。

できれば、私もプログラミングを勉強して、学習に⁽⁷⁾べんりなアプリの⁽⁸⁾かいはつに携^{たずさ}わってみたい。ICTは、私たちの⁽⁹⁾かのうせいを広げてくれるツールだ。言葉の壁^{かべ}に悩んでいる子ども達に、ICTを活用して、学習を楽しんでもらいたい。そして、自分の夢を実現するための力を身に付けて行ってほしいと思う。

【問題2】 下線の部分を正しい漢字を使って書き直しなさい。

- | | | | | | |
|-----|-------|-----|------|-----|-------|
| (1) | かんだう | (2) | りかい | (3) | れんぞく |
| | () | | () | | () |
| (4) | しょうかい | (5) | しゃしん | (6) | ひょうじ |
| | () | | () | | () |
| (7) | べんり | (8) | かいはつ | (9) | かのうせい |
| | () | | () | | () |

【ヒント】 可能性 便利 写真 連続 感動 開発
表示 紹介 理解

c-2	氏名	月 日	/7	合格 もう1回
-----	----	-----	----	------------

【問題1】 カロリネの作文を音読しましょう。

音読しました□

【アプリの開発】

山口カロリネ



私は、中学2年生の時、⁽¹⁾りょうしんと一緒にブラジルから日本に来た。初めて中学の門をくぐった日、桜が満開で、とても⁽²⁾かんだうしたのを覚えている。

日本に来る前、ブラジルの日本語学校で日本語を少し勉強したが、中学校の授業は全く理解できず、毎日がストレスの⁽³⁾れんぞくだった。

日常会話が少してできるようになったころ、先生が「ルビ振りアプリ」や「翻訳アプリ」を⁽⁴⁾しょうかいしてくれた。タブレットで教科書の文章を写真に撮るだけで、読み方や書かれている内容が画面に表示されるのだ。おかげで、日本語の力がぐんぐん伸び、クラスの授業にも遅れずについていけるようになった。もし、それらのアプリがなかったら、高校への進学は難しかったのではないかと思う。

できれば、私もプログラミングを勉強して、学習に便利なアプリの⁽⁵⁾かいはつに携^{たずさ}わってみたい。ICTは、私たちの⁽⁶⁾かのうせいを広げてくれるツールだ。言葉の壁^{かべ}に悩んでいる子ども達に、ICTを⁽⁷⁾かつようして、学習を楽しんでもらいたい。そして、自分の夢を実現するための力を身に付けていってほしいと思う。

【問題2】 下線の部分の正しい漢字を（ア）～（エ）の中から1つ選びなさい。

(1) りょうしん： ア 両親 イ 両新 ウ 価親 エ 価新

(2) かんだう： ア 歓働 イ 感動 ウ 感働 エ 館動

(3) れんぞく： ア 運読 イ 蓮続 ウ 連読 エ 連続

(4) しょうかい： ア 紹介 イ 紹会 ウ 紹介 エ 招会

(5) かいはつ： ア 開発 イ 解発 ウ 改発 エ 聞発

(6) かのうせい： ア 可能性 イ 可脳性 ウ 可能生 エ 何能性

(7) かつよう： ア 活要 イ 勝用 ウ 活用 エ 勝要

c-3	氏名	月 日	/16	合格 もう1回
-----	----	-----	-----	------------

【問題1】 2人の会話を音読しましょう。

音読しました□

【アプリの開発】

山口カロリネ



私は、中学2年生の時、1両親と2一緒にブラジルから日本に来た。初めて中学の門をくぐった日、桜が3満開で、とても4感動したのを覚えている。

日本に来る前、ブラジルの日本語学校で日本語を少し勉強したが、中学校の授業は全く5理解できず、毎日がストレスの6連続だった。

7日常会話が少してできるようになったころ、先生が「ルビ振りアプリ」や「8翻訳アプリ」を紹介してくれた。タブレットで教科書の文章を写真に撮るだけで、読み方や書かれている内容が9画面に10表示されるのだ。おかげで、日本語の力がぐんぐん伸び、クラスの授業にも遅れずについていけるようになった。もし、それらのアプリがなかったら、高校への進学は難しかったのではないかと思う。

私も、できれば、プログラミングを勉強して、学習に11便利なアプリの12開発に携たずさわってみたい。ICTは、私たちの13可能性を広げてくれるツールだ。14言葉の壁かべに悩んでいる子ども達に、ICTを15活用して、学習を楽しんでもらいたい。そして、自分の夢を16実現するための力を身に付けていってほしいと思う。

【問題2】 会話で使われた言葉（漢字）の読み方を下の（ ）の中に書きなさい。

1 両親 () 2 一緒 () 3 満開 () 4 感動 ()

5 理解 () 6 連続 () 7 日常会話 () 8 翻訳 ()

9 画面 () 10 表示 () 11 便利 () 12 開発 ()

13 可能性 () 14 言葉 () 15 活用 () 16 実現 ()

c-4	氏名	月 日	/6	合格 もう1回
-----	----	-----	----	------------

【問題1】 カロリネさんの作文を音読しましょう。

音読しました□

【アプリの開発】

山口カロリネ



私は、中学2年生の時、両親と一緒にブラジルから日本に来た。初めて中学の門をくぐった日、桜が満開で、とても感動したのを覚えている。

日本に来る前、ブラジルの日本語学校で日本語を少し勉強したが、中学校の授業は全く理解できず、毎日がストレスの連続だった。

日常会話が少してできるようになったころ、先生が「ルビ振りアプリ」や「翻訳アプリ」を紹介してくれた。タブレットで教科書の文章を写真に撮るだけで、読み方や書かれている内容が画面に表示されるのだ。おかげで、日本語の力がぐんぐん伸び、クラスの授業にも遅れずについていけるようになった。もし、それらのアプリがなかったら、高校への進学は難しかったのではないかと思う。

私も、できれば、プログラミングを勉強して、学習に便利なアプリの開発に携わってみたい。ICTは、私たちの可能性を広げてくれるツールだ。言葉の壁に悩んでいる子ども達に、ICTを活用して、学習を楽しんでもらいたい。そして、自分の夢を実現するための力を身に付けていってほしいと思う。

【問題2】 カロリネさんの作文の内容について、次の問いに答えなさい。

(1) カロリネの母国はどこですか。

(2) カロリネは、初めて日本の中学に行った日、何に感動しましたか。

(3) カロリネは、中学で、どんなことにストレスを感じましたか。

(4) カロリネは、どうやって日本語の力を伸ばしていききましたか。

(5) カロリネは、何のためにプログラミングを勉強したいのですか。

(6) あなたは、ICTをどんなことに役立てたいと思いますか。